

令和3年度 第5回千葉市地域自立支援協議会運営事務局会議 会議録

(書面開催)

- 1 期間等
 - ・資料配布・意見照会期間
令和4年1月24日(月)～令和4年1月31日(月)
 - ・集計日時
令和4年2月7日(月)
- 2 方法
 - ・書面決議による代替開催(事務局・花見川区障害者基幹相談支援センターで集計)
- 3 審議事項
 1. 基幹ネットワーク会議の報告
 2. 拠点届出制度に関するアンケート結果報告
 3. 相談支援専門員向けのアンケート
 4. 中央区介護保険移行支援事業について
 5. 各区地区部会議事要旨に関する意見及び報告
 6. その他 意見・共有事項
- 4 書面提出の状況
 - ・総委員数：21名
 - ・書面による意見提出数：20名(電話での回答を含む)
- 5 議事の結果
 - 別紙1のとおり

<別紙1>

	意見有	意見無	意見内容
1. 基幹ネットワーク会議の報告	2名	18名	別紙2のとおり
2. 拠点届出制度に関するアンケート結果報告	2名	18名	別紙2のとおり
3. 相談支援専門員向けのアンケート	5名	15名	別紙2のとおり
4. 中央区介護保険移行支援事業について	4名	16名	別紙2のとおり
5. 各区地区部会議事要旨に関する意見及び報告	2名	18名	別紙2のとおり
6. その他 意見・共有事項	2名	18名	別紙2のとおり

＜別紙2 委員からの意見内容＞

審議事項

【1. 基幹ネットワーク会議の報告】

- 大変意義深い会議となっておりますので、自立支援協議会の場において情報共有することに賛同いたします。（千葉市障害福祉サービス課・窄口氏）
- 継続して意見交換を行う場として活用していただきたいです。（中央区高齢障害支援課・荒井氏）

【2. 拠点届出制度に関するアンケート結果報告】

- 回収率が低いのはなぜだろうか。（中央区障害者基幹相談支援センター・伊藤氏）
- ひきこもりの方で、障害の疑いはあるが、いわゆるグレーゾーンの方の親亡き後や緊急対応なども、相談出来るとありがたいと思いました。（千葉市ひきこもり地域支援センター・平田氏）

【3. 相談支援専門員向けのアンケート】

- 大変有意義な取組と思います。上位3つを選択する問い方よりも、項目ごとに何段階かで評価する問い方の方が得られる結果が大きいと思います。例えば、「送迎」について「1 大変ニーズがある、2 ニーズがある、3 ニーズはあまりない、4 ニーズがまったくない」等。（千葉市障害福祉サービス課・窄口氏）
- 市外入居もあり得るのではないかと存じますが、グループホームの設問を追加してもいいのかもしれない。（千葉市障害者自立支援課・新宅氏）
- 特別支援学校向けにも行いたい。（中央区障害者基幹相談支援センター・伊藤氏）
- 移動支援の項目に「使いたい目的での利用が出来ない」という項目も入れていただけると良い。例えば、「会社まで行くのに」等。（緑区障害者基幹相談支援センター・菅野氏）
- アンケート結果が次期計画の策定に結び付くよう、取りまとめていただければと思います。（中央区高齢障害支援課・荒井氏）

【4. 中央区介護保険移行支援事業について】

- 高齢と障害の包括支援を行う両機関の協働による試みで、非常に意義深く興味深い取組と感じます。取組結果の報告を楽しみにしております。（千葉市障害福祉サービス課・窄口氏）
- 以前より課題となっている移行問題の打開策として素晴らしい取り組みだと思います。ただ、「事業」として打ち出すと、この後他区の方から「自分の区でもやらないのか」という声が出てくると思います。その時の対応、今後の千葉市の方向性等は予め定めておく必要があると思います。（稲毛区障害者基幹相談支援センター・染谷氏）
- 大変ニーズのある内容と思う。実践における効果を一定期間後に示して頂き、結果によって全区に広がるような形が良いと思う。（美浜区障害者基幹相談支援センター・石野氏）
- 事業実績及び事業効果をお伺いしたい。また、事業を実践していく中での課題などがあれば併せてお伺いしたい。（花見川区高齢障害支援課・木村氏）

【5. 各区地区部会議事要旨に関する意見及び報告】

- 地域部会で悪徳商法などについて障害者向けの講座などがあるといいかもしれないと意見が挙がっていました。来年度、何らかの形で消費生活センターと連携をとっていけたらと考えています。（若葉区障害者基幹相談支援センター・伊藤氏）
- 強度行動障害に関連し、ご意見を頂きありがたく思う。場面別の課題に対する情報提供や協力の在り方について引き続き助言を頂きたい。（美浜区障害者基幹相談支援センター・石野氏）

【6. その他 意見・共有事項】

- 当法人は、令和4年9月末をもって、緑区障害者基幹相談支援センターの受託を終了させていただきます。（緑区障害者基幹相談支援センター・菅野氏）
- 今後の基幹相談支援センターネットワークの位置づけについても、今後話が出来ればと思う。基幹の役割としては、個別の相談にのりつつも、地域づくりや拠点的作用としての課題別の部会運営や委員会への出席、相談員への出席、コーディネーター的作用が増えていくことを意識する必要がある。（中央区障害者基幹相談支援センター・伊藤氏）
- 生活自立仕事相談センターの様なシェルター機能があると非常に利用しやすいと感じています。障害では拠点事業がその対象になると思うのですが、施設内の設備になること、支給決定等の問題があり中々敷居が高いように思います。（若葉区障害者基幹相談支援センター・伊藤氏）

以上